

# 衆議院外務委員会ニュース

平成 26. 3. 26 第 186 回国会第 6 号

3 月 26 日（水）、第 6 回の委員会が開かれました。

## 1 国際情勢に関する件

- ・岸田外務大臣、若宮防衛大臣政務官、小松内閣法制局長官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 星野剛士君（自民）

- ・北朝鮮が、本日午前 2 時 30 分から 40 分頃にかけて弾道ミサイル 2 発を発射したことに関し、岸田外務大臣の所見を伺いたい。
- ・3 月 24 日の G 7 首脳会合終了後に発出された「ハーグ宣言」等を踏まえ、政府は、今後ロシアに対しどのような外交を展開していくつもりか。
- ・近年の中国による海洋進出、特に南シナ海における海洋進出に関し、政府はどのような見解を持っているのか。

### 渡辺周君（民主）

- ・北朝鮮が、本日弾道ミサイル 2 発を発射したことを受けて、国家安全保障会議（NSC）を開催したのか、今後開催する予定はあるのか。
- ・3 月 25 日にオランダ・ハーグで開催された日米韓首脳会談の成果について、政府はどのように考えているのか。
- ・中韓両国は強制連行訴訟や歴史問題で対日共闘しているように見えるが、岸田外務大臣はどのように考えているのか。

### 村上政俊君（維新）

- ・政府は、本日の北朝鮮による弾道ミサイル発射に対して厳重な抗議を行っているのか。
- ・メディアなどで内閣法制局が「憲法の番人」と呼ばれていることは不適切だと考えるが、小松内閣法制局長官の認識を伺いたい。
- ・安倍総理大臣の G 7 首脳会合後における「力による現状変更は断固として許すことはできない。この問題は…特にアジアなど国際社会全体の問題だ」との発言の趣旨は何か。

### 青柳陽一郎君（結い）

- ・サン・ベトナム国家主席の訪日（2014. 3. 16～19）の成

果と意義について伺いたい。

- ・ASEAN 諸国等へのスポーツ支援やクールジャパンの推進による国際貢献・国際交流が、日本のビジネスチャンスに大きくつながっているが、これらを支援するスキームが存在しない現状を踏まえ、在外公館を活用した支援の必要性について所見を伺いたい。
- ・北朝鮮による拉致問題に関し、国連人権理事会において飯塚・拉致被害者家族会代表が拉致の事実等についてスピーチを行うとともに、我が国と EU が提出した決議案が採択されるとのことだが、これに対する評価について伺いたい。

### 笠井亮君（共産）

- ・大型無人偵察機グローバルホークが米軍三沢基地（青森県）に配備されることを受け、防衛省は関係自治体にどのような説明を行ったのか。
- ・米軍は 1998 年 2 月からグローバルホークの運用を開始しているが、これまでの事故件数及びその態様について伺いたい。
- ・大型無人偵察機グローバルホークの安全性について詳細な確認をせずに、防衛大臣がその安全性について確信を持たず発言することは問題があるのではないか。

### 玉城デニー君（生活）

- ・核セキュリティ・サミット（2014. 3. 24～25）に参加した意義と安倍総理大臣のコミットメントの内容について伺いたい。
- ・岸田外務大臣のバングラデシュ及びミャンマー訪問（2014. 3. 21～24）の内容について伺いたい。
- ・我が国では、平成 20 年の閣議了解に基づき、平成 22 年度から第三国定住による難民の受入れを「パイロットケース」として開始しているが、これまでの受入れでどのような課題が判明したのか。